



2021年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年12月15日

上場会社名 アスクル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2678 URL <https://www.askul.co.jp/kaisya/ir/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 吉岡 晃
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 CFO (氏名) 玉井 継尋 (TEL) 03-4330-5130
 四半期報告書提出予定日 2020年12月25日 配当支払開始予定日 2021年1月18日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第2四半期の連結業績(2020年5月21日～2020年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	206,452	3.4	5,926	70.9	5,908	74.1	3,453	57.5
2020年5月期第2四半期	199,625	4.3	3,468	236.9	3,393	254.1	2,192	594.0

(注) 包括利益 2021年5月期第2四半期 3,413百万円(54.3%) 2020年5月期第2四半期 2,211百万円(545.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	67.61	67.32
2020年5月期第2四半期	42.97	42.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第2四半期	182,336	55,555	30.3
2020年5月期	174,146	52,825	30.1

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 55,244百万円 2020年5月期 52,434百万円

(注) 2021年5月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年5月期に係る各数値においては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2021年5月期	—	19.00			
2021年5月期(予想)			—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年5月21日～2021年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	2.4	10,800	22.4	10,600	22.5	6,000	6.1	117.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年5月期2Q	55,259,400株	2020年5月期	55,259,400株
② 期末自己株式数	2021年5月期2Q	4,111,605株	2020年5月期	4,221,622株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年5月期2Q	51,074,853株	2020年5月期2Q	51,024,813株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
3. その他	13
販売費及び一般管理費の明細(連結)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年5月21日から2020年11月20日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により個人消費・企業活動が停滞し、経済活動再開の動きが見られるものの、再び感染者数が増加傾向にあるなど依然として先行きは不透明な状況となっております。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響が多くの業種において需要低迷を招く中、当社グループが属するeコマース市場は、新しい生活様式における人との接触を減らす購買活動としての役割への期待が高く、需要は増加傾向にあります。一方で、配送ドライバー不足等に起因した配送運賃の高止まりや同業他社とのサービス品質競争が続いており、楽観視できない経営環境が続いております。

このような状況の中、主力分野であるeコマース事業のBtoB事業は、eコマース市場拡大を機会と捉え、「働く人のライフラインとして全ての仕事場に信頼されるサービスを提供する」をミッションに、さらなる事業成長を推進しております。BtoC事業は、2023年5月期の「LOHACO」営業利益黒字化の実現に向け、構造改革に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間については、2020年4月の緊急事態宣言以降に落ち込んだBtoB事業の売上高成長率が2020年5月の緊急事態宣言解除後は着実に回復し、手指消毒液やマスク等の新型コロナウイルス感染対策商品の特需が継続していることから、増収大幅増益となり、BtoC事業の「LOHACO」も損益改善が計画通り進捗しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、同期間では売上高が初めて2,000億円突破の2,064億52百万円（前年同期比3.4%増）となり、営業利益59億26百万円（前年同期比70.9%増）、経常利益59億8百万円（前年同期比74.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億53百万円（前年同期比57.5%増）とそれぞれ同期間での過去最高益となりました。

セグメント別の経営成績につきましては、以下のとおりです。

<eコマース事業>

当社グループの主力分野であるBtoB事業につきましては、2020年4月の緊急事態宣言によるお客様の事業活動の自粛の影響を受けて当社グループの売上高も落ち込み、中堅、大企業向けの売上高は依然厳しい状況が続いておりますが、2020年5月の緊急事態宣言解除後においては、中小企業等のお客様の事業活動が正常化に向かっていく中で、当社グループの売上高成長率は想定よりも早く回復してきております。従来からの手指消毒液やマスクに加え、使い捨てグローブやパーティションなどの感染対策商品に対する需要増が継続しており、またeコマース需要の増加による梱包資材等のMRO（注1）商材や、取扱い商材数が800万アイテムを超え品揃え強化に注力しているロングテール商材の売上高も伸長したことから、当第2四半期連結累計期間は増収となりました。

従来から強化しておりますSEO（注2）の効果に加え、経済産業省および厚生労働省からの要請を受けて実施しております手指消毒液の優先お届け等をきっかけに取引を開始した医療機関・介護施設のお客様等、新規のお客様が増加しております。既存のお客様の稼働率も高まっており、新規のお客様も含め当社サービスを継続してご利用いただけるよう、商材の拡大やお届け品質の向上に取り組んでおります。

この結果、BtoB事業の売上高は、前年同期比で48億75百万円増収の1,689億15百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

BtoC事業につきましては、「サイバーサンデー」や「超PayPay祭」などの販促効果もあり、売上高は順調に伸長しております。損益改善については、コロナ禍の自粛生活が続く中で、付加価値の高い商品の提案や、販売価格の適正化等により商品粗利率の向上が進むとともに、第1四半期連結会計期間で大きく落ち込んだ広告収入も回復傾向にあり、売上総利益率の改善に寄与しております。新商品としては、2020年11月からオンライン形式で開催している「暮らしになじむLOHACO展.com」にて、大手日用品メーカー23社とともに企画開発した独自価値商品を発表し、30商品の販売を開始しております。今年の「LOHACO展」は、これまでの「デザイン」「サステナブル」に加えて、コロナ禍での新しい生活様式に着目した「暮らしのお悩み解決」をテーマに掲げ、既に前年を大きく上回るお客様にサイトを訪問いただいております。引き続きメーカーとの共創を強化してまいります。

この結果、「LOHACO」の売上高は、前年同期比で15億98百万円増収の256億51百万円（前年同期比6.6%増）となり、BtoC事業合計でも、前年同期比で20億92百万円増収の337億51百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

以上より、両事業を合計したeコマース事業の売上高は2,026億67百万円（前年同期比3.6%増）となりました。差

引売上総利益は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染対策商品をはじめとする商品利益率の高い商品の売上高が伸長し、「LOHACO」における売上総利益率の改善も進んだことから、512億9百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

当第2四半期連結会計期間に、期末決算賞与に係る引当金等8億3百万円を計上したものの、両事業の増収および「LOHACO」におけるヤフー株式会社との連携強化による販促費、固定費の抑制が寄与し、売上高販管費比率は前年同期比0.1ポイント減少し、販売費及び一般管理費が445億76百万円となり、営業利益は66億33百万円（前年同期比101.3%増）となりました。

<ロジスティクス事業>

当第2四半期連結累計期間においては、主に2020年11月に開始した物流業務受託の準備期間に係る物流センター賃料等の費用負担があったことから、営業損失となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は34億22百万円（前年同期比2.2%減）、営業損失は7億42百万円（前年同期は営業利益1億54百万円）となっております。

なお、第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社エコ配の株式を一部譲渡したため、第1四半期連結会計期間末をもって、同社および同社の子会社である株式会社ecoプロパティーズを連結の範囲から除外しております。

<その他>

婦恋銘水株式会社の売上高は概ね前年同期並みで進捗し、利益率の高い商品の増収により増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6億98百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は72百万円（前年同期比115.3%増）となっております。

- (注) 1 Maintenance, Repair and Operationsの頭文字をとった略称で、工場・建設現場・倉庫等で使用される消耗品・補修用品等の間接材全般を指します。
- 2 Search Engine Optimizationの頭文字をとった略称で、サーチエンジンで商品を検索した際に当社のWEBサイトが上位に掲載される施策を指します。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,823億36百万円となり、前連結会計年度末と比べ81億89百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が92億56百万円増加したのに対し、現金及び預金が22億73百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,267億80百万円となり、前連結会計年度末と比べ54億59百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が58億42百万円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は555億55百万円となり、前連結会計年度末と比べ27億30百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を34億53百万円計上したのに対し、配当金の支払いが9億69百万円あったこと等により、利益剰余金が24億77百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は30.3%（前連結会計年度末は30.1%）となりました。

なお、2020年5月1日に行われた当社連結子会社であるASKUL LOGIST株式会社と西湘運輸株式会社との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、当第2四半期連結会計期間に確定したため、前連結会計年度との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は609億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億73百万円減少いたしました。なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、27億83百万円（前年同期比54.9%減）となりました。これは、仕入債務の増加53億79百万円、税金等調整前四半期純利益48億23百万円、減価償却費およびソフトウェア償却費の合計29億91百万円、貸倒引当金の増加10億39百万円の増加要因があった一方、売上債権の増加98億37百万円、法人税等の支払額16億97百万円、たな卸資産の増加7億56百万円の減少要因があったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、29億29百万円（前年同期比21.2%増）となりました。これは、ソフトウェアの取得による支出18億55百万円、有形固定資産の取得による支出6億70百万円の減少要因があったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、21億27百万円（前年同期比9.3%減）となりました。これは、配当金の支払9億69百万円、リース債務の返済による支出9億7百万円、長期借入金の返済による支出5億20百万円の減少要因があったこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月16日に公表いたしました2021年5月期（通期）の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,260	60,986
受取手形及び売掛金	38,701	47,957
商品及び製品	16,582	17,271
原材料及び貯蔵品	257	275
未成工事支出金	63	100
未収入金	10,340	10,775
その他	1,277	1,373
貸倒引当金	△24	△45
流動資産合計	130,458	138,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,329	8,592
減価償却累計額	△3,162	△3,357
建物及び構築物（純額）	5,166	5,235
土地	137	137
リース資産	19,408	19,906
減価償却累計額	△6,405	△7,364
リース資産（純額）	13,003	12,541
その他	10,065	10,023
減価償却累計額	△6,961	△7,131
その他（純額）	3,104	2,892
建設仮勘定	461	1,148
有形固定資産合計	21,873	21,954
無形固定資産		
ソフトウェア	7,285	7,102
ソフトウェア仮勘定	1,116	1,856
のれん	2,103	1,743
その他	101	93
無形固定資産合計	10,606	10,796
投資その他の資産		
投資有価証券	808	433
繰延税金資産	3,873	3,912
その他	6,647	7,637
貸倒引当金	△121	△1,094
投資その他の資産合計	11,208	10,889
固定資産合計	43,688	43,640
資産合計	174,146	182,336

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,549	51,391
電子記録債務	21,733	21,102
短期借入金	430	380
1年内返済予定の長期借入金	1,767	3,500
未払金	10,281	11,434
未払法人税等	1,972	1,715
未払消費税等	1,140	764
引当金	780	1,486
その他	3,718	3,660
流動負債合計	87,374	95,437
固定負債		
長期借入金	13,679	11,426
リース債務	11,879	11,407
退職給付に係る負債	3,716	3,911
資産除去債務	2,438	2,446
その他	2,232	2,151
固定負債合計	33,947	31,343
負債合計	121,321	126,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,189	21,189
資本剰余金	24,220	24,078
利益剰余金	23,769	26,246
自己株式	△16,718	△16,251
株主資本合計	52,461	55,264
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△26	△19
その他の包括利益累計額合計	△26	△19
新株予約権	7	3
非支配株主持分	382	307
純資産合計	52,825	55,555
負債純資産合計	174,146	182,336

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2019年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月21日 至 2020年11月20日)
売上高	199,625	206,452
売上原価	152,503	155,163
売上総利益	47,121	51,288
返品調整引当金戻入額	26	26
返品調整引当金繰入額	26	31
差引売上総利益	47,121	51,283
販売費及び一般管理費	43,653	45,357
営業利益	3,468	5,926
営業外収益		
受取利息	13	20
助成金収入	20	59
賃貸収入	165	94
その他	68	22
営業外収益合計	267	197
営業外費用		
支払利息	127	115
賃貸費用	174	88
その他	40	12
営業外費用合計	342	216
経常利益	3,393	5,908
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
子会社株式売却損	—	24
投資有価証券評価損	—	48
固定資産除却損	50	12
貸倒引当金繰入額	—	1,000
その他	—	0
特別損失合計	50	1,086
税金等調整前四半期純利益	3,342	4,823
法人税、住民税及び事業税	979	1,463
法人税等調整額	161	△46
法人税等合計	1,140	1,417
四半期純利益	2,201	3,406
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9	△47
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,192	3,453

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2019年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月21日 至 2020年11月20日)
四半期純利益	2,201	3,406
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△2	—
退職給付に係る調整額	11	7
その他の包括利益合計	10	7
四半期包括利益	2,211	3,413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,202	3,460
非支配株主に係る四半期包括利益	9	△47

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2019年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月21日 至 2020年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,342	4,823
減価償却費	1,520	1,638
ソフトウェア償却費	1,155	1,353
長期前払費用償却額	64	51
のれん償却額	183	187
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	1,039
引当金の増減額 (△は減少)	△18	705
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	161	205
受取利息及び受取配当金	△13	△20
支払利息	127	115
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	48
固定資産除却損	49	12
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,117	△9,837
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△57	△756
未収入金の増減額 (△は増加)	284	△436
未収消費税等の増減額 (△は増加)	66	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,473	5,379
未払金の増減額 (△は減少)	936	632
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△501	△297
その他	△335	△268
小計	7,330	4,576
利息及び配当金の受取額	13	20
利息の支払額	△127	△115
法人税等の支払額	△1,047	△1,697
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,169	2,783
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,426	△670
ソフトウェアの取得による支出	△785	△1,855
長期前払費用の取得による支出	△102	△5
差入保証金の差入による支出	△76	△3
差入保証金の回収による収入	5	3
貸付けによる支出	△30	△1
貸付金の回収による収入	1	12
投資有価証券の取得による支出	△94	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△396
資産除去債務の履行による支出	△3	△5
その他	96	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,416	△2,929

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2019年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月21日 至 2020年11月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△50
長期借入金の返済による支出	△856	△520
リース債務の返済による支出	△840	△907
自己新株予約権の取得による支出	△36	△2
自己株式の処分による収入	7	322
非支配株主からの払込みによる収入	300	—
配当金の支払額	△918	△969
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,344	△2,127
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,408	△2,273
現金及び現金同等物の期首残高	57,469	63,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,877	60,986

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当第2四半期連結会計期間において、B to B 事業における新サイトへの移行およびB to C 事業における一部サービス終了が決定したことから、当初より利用期間の短くなったソフトウェアについて耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ44百万円減少しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)の仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年5月21日 至 2019年11月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	eコマース 事業	ロジスティク ス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	195,699	3,501	199,200	425	199,625	—	199,625
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	285	285	△285	—
計	195,699	3,501	199,200	711	199,911	△285	199,625
セグメント利益	3,294	154	3,448	33	3,482	△14	3,468

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去になります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年5月21日 至 2020年11月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	eコマース 事業	ロジスティク ス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	202,667	3,422	206,090	362	206,452	—	206,452
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	335	335	△335	—
計	202,667	3,422	206,090	698	206,788	△335	206,452
セグメント利益 又は損失(△)	6,633	△742	5,890	72	5,962	△35	5,926

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△35百万円は、セグメント間取引消去になります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

販売費及び一般管理費の明細(連結)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2019年11月20日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 2020年5月21日 至 2020年11月20日)			(参考) 前期 2020年5月期 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)
人件費 ※1	10,288	5.2	11,298	5.5	109.8	20,721	5.2
配送運賃	11,627	5.8	12,146	5.9	104.5	23,062	5.8
販売促進引当金繰入額	259	0.1	292	0.1	112.7	533	0.1
業務外注費	1,837	0.9	1,699	0.8	92.5	3,566	0.9
業務委託費	5,535	2.8	5,650	2.7	102.1	10,921	2.7
地代家賃 ※2	4,819	2.4	5,139	2.5	106.6	9,727	2.4
貸倒引当金繰入額	17	0.0	43	0.0	252.8	69	0.0
減価償却費	1,462	0.7	1,554	0.8	106.3	3,017	0.8
ソフトウェア償却費 ※3	1,142	0.6	1,331	0.6	116.6	2,373	0.6
その他諸経費	6,664	3.4	6,201	3.1	93.0	12,869	3.2
合計	43,653	21.9	45,357	22.0	103.9	86,862	21.7

※1 前年同期と比較して、当第2四半期連結累計期間の人件費が増加しておりますが、主な要因は、期末決算賞与に係る引当金等の計上による影響であります。

2 前年同期と比較して、当第2四半期連結累計期間の地代家賃が増加しておりますが、主な要因は、2020年1月に「ASKUL 三芳センター」が竣工したことによる影響であります。

3 前年同期と比較して、当第2四半期連結累計期間のソフトウェア償却費が増加しておりますが、主な要因は、新商品データベースの稼働および会計上の見積りの変更における償却期間の短縮による影響であります。